

# 都市整備部会 会議録

（出席者） 委員：8名  
事務局：7名（戦略部会員：6名、政策推進課：1名）  
アドバイザー：1名  
ファシリテーター：1名

（会議の内容）

## 1. はじめに

資料 1 に基づき、第 6 回まちづくり市民会議（第 5 回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

資料 2 に基づき、第 7 回まちづくり市民会議の検討の進め方について事務局から説明しました。

## 2. 報告事項

資料 3 に基づき、総合計画の改定状況について事務局から説明しました。

資料 4 に基づき、幸福度の設定について事務局から説明しました。

## 3. 検討事項

資料 5 に基づき、「市民会議からの提案（重点的に取組んでほしいもの）について」「市民協働モデル事業について」「分野別の計画素案について」事務局から説明し、検討を行いました。（検討の内容は次ページ以降に掲載。）

## 4. アドバイザー総括（駒木アドバイザー）

本日の会議についての総括を行っていただきました。（内容は次ページ以降に掲載。）

## 5. その他

今回の会議は全体会となるため、市民会議幹事のスケジュール調整により後日決定すること、全体会では市民会議幹事からの「市民会議からの提案（重点的に取組んでほしいもの）について」「市民協働モデル事業について」の 2 つについて発表を行うことを報告しました。

各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後 1 週間を期限に、提出をお願いしました。

<報告事項について>

【委員】

幸福度のところの指標の1つに「未婚率の減少」があがっているが、結婚を幸福とするかどうかは個人的なものと思ったがどうなのか。

【事務局】

結婚していることが幸せなのか、していないのが幸せなのかは、個人の感覚によるものだと思う。一つの考え方としては、単身者が多いよりも、結婚している人が多い方が、社会全体としていざという時のセーフティネットが幅広くなり、安定するという捉え方で入れている。

<検討事項について>

【委員】

施策4-10と4-11は統合される可能性があるということだが、施策の目標指標を見ると、スポーツ施設や公園が挙げられている。国定公園や自然公園は、自然環境を保全する意味が強いものであり、スポーツ施設とは同じ括りではないと思う。

【事務局】

分野としては、次のページの基本事業の「自然景観形成の推進」の環境衛生課の部分になる。ただ、目指す姿の中にも「公園の適正管理」という方向性があるので、移すかどうかは、まだ検討中である。

【委員】

公園といっても、中央公園などとは違う。

【事務局】

維持管理課と少し話をしたが、スポーツ施設の利用者であれば教育委員会のスポーツ振興課ではないかということだ。維持管理で言えば、公園の施設年間利用者というような表現の方がいいのかと思う。

【事務局】

確かに、スポーツ施設の年間利用者というのは、「緑と景観の整備」という施策とは全然違ってしまう。

【委員】

スポーツ施設年間利用者というのは、予約や利用申請があった利用者か。

**【事務局】**

拾える数である。実際の公園利用者の数は拾えない。最低利用人数を施設利用の申請のあった人数とするのであれば、スポーツ施設をとった方がいいのではないか。スポーツ施設を残すのであれば、教育委員会で年間の人数が載っているので、重複していると思う。

**【委員】**

4-11の「緑と景観の整備」のタイトルについて、緑は色だが、他は施策の具体的なものになっている。緑は具体性に欠ける表現ではないか。緑をやめて、山、里山や自然環境といった言葉などにしてはどうか。

**【事務局】**

里山は4-10に入っている。森林や林業は自然環境に入っている。

**【委員】**

4-11は都市景観のことではないか。

**【事務局】**

都市景観も含み、三河湾特定公園などの自然景観や、景観全般と公園の緑化などが入っている。

**【委員】**

河川もあるが、山も大事だということである。山と緑化とは少し考え方が違う。

**【委員】**

4-10を純粹に山や緑としてしまった方がいい。

**【委員】**

緑と景観を一緒にするのは違和感がある。緑は自然環境で生えているもので、景観は市街地などでまちなみのことも言う。

**【委員】**

的外れになるかもしれないが、交通基盤の整備について話したい。259号線と42号線は、我々の感覚で「地獄」と「死人」としか頭にない。偶然、この半島に「地獄」と「死人」の番号が来た。259番目にできた道路と42番目にできた道路が重なるということはある得ないのではないか。ホテルでも縁起が悪いと言ってそういった番号はつけない。人が忌み嫌う番号がついていると、悪いイメージしかわかない。変えられるのであれば787号線で「なのはな」とするなど、良いイメージに変えてほしい。基本的なところから疑問として問いただしてもいいかと思う。

**【事務局】**

これらの道路は三重県にまで渡っており、田原市に限ったことではない。

**【委員】**

ホテルでも自分が42番なら良い気はしない。気にならないわけがない。自分たちは慣れてしまっているが、他から来た人はおかしいと思う。道路のことを一生懸命やっているのに雰囲気が悪くなる。それから、この2つは偶然ではない。聞いてはいけないことだとは思わないが、他にも気になっている人がいるので調べてほしい。

**【事務局】**

私の力の及ばないところかと思うが、意見としていただく。  
変えられないと言われたらどうするか。

**【委員】**

なぜ変えられないのか。そもそもこの番号の根拠は何か聞いてもいいと思う。

**【委員】**

国道の定義から紐解かないといけないと思うが、1ケタから3ケタまで、いろいろな条件がある。1号線や主要都市をつなぐものが1ケタから2ケタになる。県の道路担当課でわかるのではないか。県道でも地名をとっているが、番号が付いている。国道は、主要で必要な物流のための道路である。1つの県ではなく両県にまたがって、動く量で変わる。42号は和歌山県までつながっている。上位路線が下位路線の上にくる。重なっているときは隠れていたりする。259号線は1号線と重なる部分がある。伊良湖の港までつながっている。しかし、42号線が入ったために、たまたまそうなった。

分野施策をまとめるなら、「4-3 港湾の整備」「4-5 海岸の整備」をまとめたら良いと思う。

**【事務局】**

4-5は1事務事業に1施策であるし、市が主体となるものでもない。他と統合していきたいと考えている。

**【委員】**

準用河川しか載っていないが、田原市は2級河川もある。市の管理という点で言えば、道路と同様に、田原市の中にある公共のものとして含めるべきである。

**【委員】**

分野施策は1から11までであるが、順番は何か法則があるのか。たとえば「うるおいのあるガーデンシティ」と言うのなら、10、11を初めに持っていてもよいのではないか。

**【事務局】**

並びは現行の総合計画をベースにしている。

**【委員】**

市民会議からの提案である「主要プラン」の方としては「美しい景観」を1番に持ってきてもいいのではないかと。

**【事務局】**

この並びは、こちらの案である。ワークショップで皆さんの意見が多かった道路をトップにもってきている。優先順位とは言わないが、上から見ていくものなので重要とイメージされるものから並べている。個人個人で考えは違うと思うが、何か意見があればお聞きしたい。

**【委員】**

都市整備分野なので、交通、道路、河川が大事だと思う。順番は重きを置くようなものからあると思う。

**【委員】**

予算措置上の並びがあると思う。あてはまるかどうかはわからない。そういった意味では、筋が通っている。この順番でいいと思う。考えようだが、1番が一番重要だとは思わない。いろいろあると思うが、市役所内の部や課を決めることと同じような順番だろう。

**【委員】**

「施策4-6 市街地の整備」に中心市街地の人口目標があがっているが、この人数でにぎわいを出すのか。この人数ではにぎわいが出ないのではないかと。

**【事務局】**

空き家、空き地バンクの事業があり、中心市街地の人口をこれ以上減らさないようにと立ち上げている。

**【委員】**

本当に、これで活性化でき、にぎわいができるのか。この指標が5,000人になるのならわかる。

**【事務局】**

指標は、また課に戻して調整する。日本全体の人口が減っていく中で、人口維持自体、エネルギーがいることである。中心市街地の人口は増えて市の人口は増えないとなると、コンパクトシティという観点からすれば課題も出る。その他の地域から人がいなくなるのもどうかと思う。

**【事務局】**

住宅地をつくるということはないので、今の建物を有効利用していければよい。

**【委員】**

中心市街地の人口の捉え方がわからない。市街地は田原だけではなく、赤羽根などに全部ある。どんな捉え方をしたらいいのか。

**【事務局】**

場所が決まっている。田原の中心部のみである。この辺りからイオンまでである。

**【アドバイザー】**

中心市街地の人数であるが、定住のみではなく、交流人口をどう増やしていくかだろう。そこに住む人は増えないとしても、交流人口はどれくらい増えるかということである。うまく名古屋や豊橋などから人を呼べるといい。たとえば、日間賀島なども、名古屋から人が来ているということもある。

**【事務局】**

そのとおりである。指標はまた相談したい。

**【アドバイザー】**

海岸のところで、津波対策は防災に入るのか。

**【事務局】**

津波は消防防災分野で入ることになる。

**【アドバイザー】**

他の分野のところに入るのなら、ページの参照などを入れた方がわかりやすい。

**【委員】**

公共交通のところ、田原は電車があるが、その先はバスである。しかし、バスに乗る環境が整っていない。バス停に雨風を防ぐものもない。本当にバスの利用者のことを考えているのかと思う。バスに乗る人のことを考えたものにしてほしい。

**【委員】**

ぐるりんバスの利用目標値は7.5人になっているが、これでコストが合うのか。

**【委員】**

「走らせてやっている」という感じがする。

**【委員】**

具体的に、路線を増やすという考えもある。乗車率で表していかないといけない。利用してもらうなら、その意気込みを見せないといけない。それから、前半に大切なものがあると思う。自然公園、国定公園は手入れをしないことが重要だと思う。整備をしていくことと、残していくこと、どうやってマッチングしていくのか。道路などは個人で持っている土地につくらせてくれと頼むのか。

**【委員】**

自然っぽくして見せないといけないものがある。

**【委員】**

今ある山が1つ2つなくなると大変である。山も個人の持ち物で財産なので、乱開発も出ている。景気がよくなれば、山の土もいっぱいとられてしまうと思う。

**【委員】**

基本構想の施策大綱「便利で快適なまち」だが、これはどうなのか。

**【事務局】**

分野の目指す姿、イメージを表したスローガンである。開発や自然など、一言ではなかなか表わしづらいと思う。

**【委員】**

利便性や快適を追求するということはどうか。今の時代に合っているのか。

**【委員】**

しかし、それを目指さないと人がいなくなってしまう。

**【委員】**

都市整備を進めていく中で、便利さというものはある。前は環境が入っていたので「美しく快適なまち」だった。最後に「まち」が付いていたが、付けなくてはならないのか。「美しい」でも良いのではないだろうか。

**【事務局】**

そのあたりは他の分野と横並びなので、1部会だけ個性を出すことは難しい。

**【アドバイザー】**

整備と保護・保全というのは、それに対応するようなものがあればよいと思う。グリーンクリーン道づくりプロジェクトをやっているので、「美しい」に対応するような言葉があれば良いと思う。

**【委員】**

「美しく、便利で、快適なまち」はどうだろうか。しかし、「美しく」をあまり考えると不便かもしれない。

**【委員】**

今後、復元・再生ということも都市整備に含まれるかもしれない。

**【委員】**

「なつかしい」という言葉を入れるのはどうだろうか。

**【委員】**

都市整備部会なので、それだと都市整備から外れるような気がする。環境の方からアプローチできないだろうか。

**【委員】**

景観の条例を創るので、その辺りを持ってこられればと思う。便利に道路をつくるのは当たり前なので、当たり前のことを当たり前を書いて、目標にしてもどうかと思う。

**【事務局】**

景観という切り口でいけば、「美しく」が一番しっくりくるのではないだろうか。景観の中でも、美しい自然景観、美しい道路の景観が田原市の中でしっかり保全していくべき景観として、テーマが上がってきている。そのため、景観というのは「美しく」を一番目指しているというイメージを持っている。

**【委員】**

「美しく」がぴったりではないだろうか。「美しく」は人によって違うので自由に想像できて良いのではないか。

**【委員】**

「美しい」というのは無駄なところにある。基本的には、整備された脇のところに「美しい」があるので、そこにどれだけ投資し追求していくのか、ということではないだろうか。

**【事務局】**

「美しい」にはいろいろな面があると思う。ハード面、箱ものの美しさは装飾的に華やかな部分が「美しい」になると思う。自然景観で言えば、手を加えずに残してゆくのが「美しい」イメージになると思う。そのような両面を考えれば、「美しい」は良いのかもしれない。



**【委員】**

人によって美しく見えないものも、他の人から見れば美しい場合もある。しかし、「美しく」というのは基本的にそれぞれ、良いイメージがあるので「美しく」が良いのではないだろうか。

**【事務局】**

次回の全体会の時は、これまで各部会の話し合ってきた主要プラン、市民協働モデル事業についての発表を行う予定である。そのため、この場で意見を磨きあげていきたい。

**【委員】**

2ページの「目指す姿」のところだが、「自分が育てるもの」を「みんなで育てるもの」にしたらどうか。主要プランで公共交通の整備の意見があったが、これを拡充する何かよい方法があるのだろうか。

**【事務局】**

事業担当課としては、バスをもっと網の目のように走らせたいという希望がある。交通弱者のために空白地帯をなくしたいが、費用対効果がかみ合っていない。バスを増やすか減らすかは市役所内で検討を進めてもらっているところである。拡大するのか、コストをかけずに使いやすいシステムにしてゆくかはこれから方向性を定める。見直しをしっかりと進めたい。現状は、『空気を運んでいる』という厳しい意見を頂いている。高齢者でも車を運転する方が多いので、今のニーズはそこまで高くないかも知れないが、今後の高齢化社会を考えれば必要性は高まってくるものと思われる。時代にあわせてしっかりと見直していけるようにしたい。

**【委員】**

市が運営するコミュニティバスと民間のバスと賃金格差が激しいので、そのあたりも難しい問題だと思う。

**【委員】**

港湾の整備は馬草港、泉港の2つだけを市が管理しているのか。市として港湾の整備ができるのはこの2つということなのだろうか。

**【委員】**

これも道路と一緒に、級があり、それによって国、県、市、どこが管理するか決められている。

**【委員】**

馬草港にプレジャーボートが多くなっているということか。そんなにあるだろうか。田原生コンの下の港の係留はお金をとってしているらしい。福江は係留も何もなく、船の墓場状態になっている。船を捨てにくるようである。費用を出して管理していく必要もあるのではないか。県は何もしてくれないし、要望を出している。

**【事務局】**

漁港として位置付けているところで、市が管理しているところは宇津江などがある。使い方によって違う。

**【委員】**

港湾の整備にしても海の管理にしても、お金をとってちゃんとやっている漁協はきれいになっている。しかしそうではないところでは泥棒がいっぱい、船の墓場状態、となる。組合同士の連携なども視野に入れて港湾の整備も進めていく必要がある。大きいものが抜けているように感じる。

**【委員】**

主な事業のところ、「管理事務」など出ているところがあるが、アウトソーシングしているということか。市の職員がいなくてもできることがほとんどなのだろうか。

**【事務局】**

施設系のものなどは、指定管理者として委託しているものもある。事業によって市の方で支援しているもの、委託しているもの様々である。

**【委員】**

17 ページの林道整備事業はどうか。

**【事務局】**

農政の方で整備している。今聞いているのは衣笠山のところである。

**【委員】**

指定管理だと力が抜けてしまうような印象がある。

**【事務局】**

指定管理もただ投げているだけではなく、民間で行った方が適切なものをお願いしている。

**【事務局】**

部会から発表する内容としては、資料 5 の 1、2 ページとなるが、「目指す姿」のところを“みんなで育てるもの”として修正する。ふり返しシートで出していただいた意見は幹事さんと調整しながら反映できるものについて進めていく。

## ＜アドバイザー総括＞

これまで集まって検討した内容は、皆さん一人ひとりに何が出来るかということだったと思う。事務事業は網羅され、決まっているものであり、なかなか変えられない。そこで考えることは、ここにある「市民一人ひとりの活動」というところだろう。自分たちに何ができそうかということを書くことは、市民会議で総合計画をつくっていく中で入れられるところではないか。市民協働モデル事業の部分が一番大々的なところだろうと思うが、「市民一人ひとりの活動」を充実できると良い。

先日鹿児島に行き、「やねだん」という集落に行ってきた。そこは人口 300 人くらいの集落であり、高齢化が進んでいるが、豊重さんという方が中心となって活動的に取組んだことで、人口が増えたり、地域の積立金が増加したり、といった効果を上げている。そこでおっしゃっていたのは、大切なのは「感動」だということである。今日初めに話のあった「幸福度」のことにも通じるが、活動を通じて感動や幸福を感じられることになれば良い。また、高齢者と子どもの活動が活発になると地域全体に活動が波及するということである。都市で同じような取組みが出来るかはわからないが、田原市も高齢化が進んでいるところも多いので、参考になると思った。

以上